

# ルネサンス完成内覧会

## 開催日

5 / 24 (金) 10:00~17:00

5 / 25 (土) 10:00~17:00

〔特徴〕 **タカユカ工法**で**全室床下収納**

タカユカ工法とは???

おどろきの**収納力**!



イメージ写真です

これが  
タカユカ工法

詳しくは当社ホームページをご覧ください  
URL: <http://www.shinwakensetsu.com/>

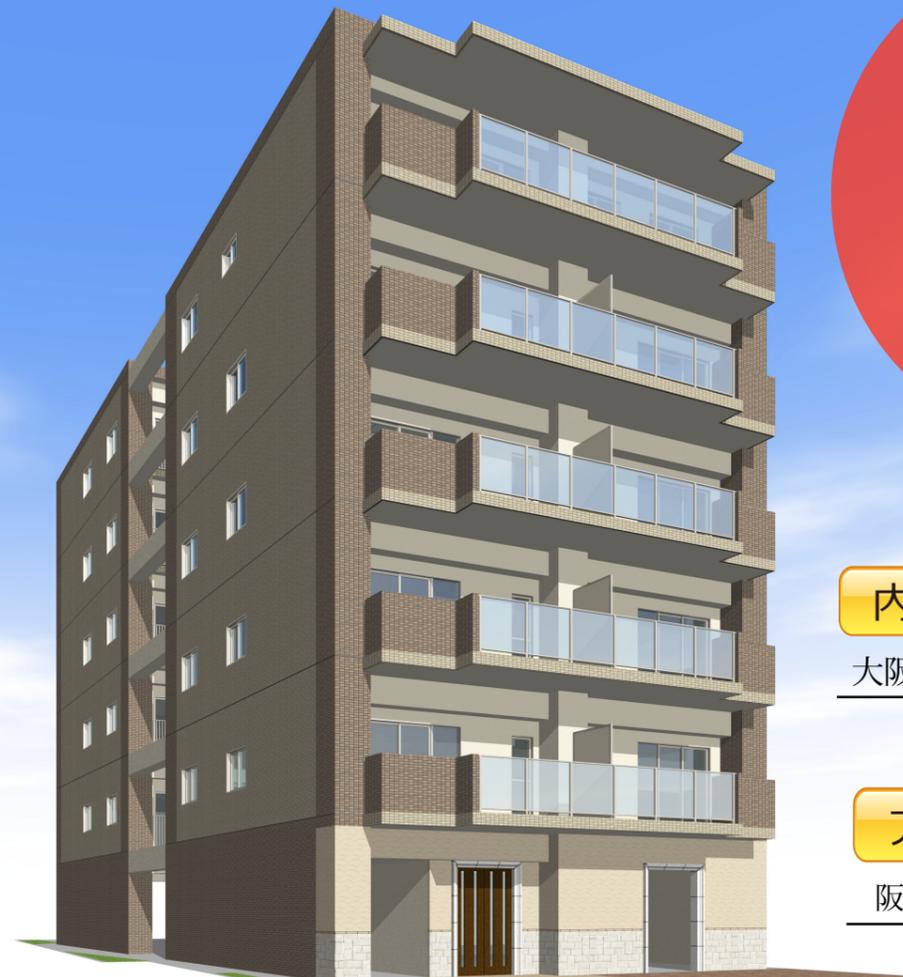
信和建設(株)

検索

～イベント内容～

- 遮音実験
- モデルルーム
- 大阪ガスイベント

SHINWA



平成25年  
5月末竣工

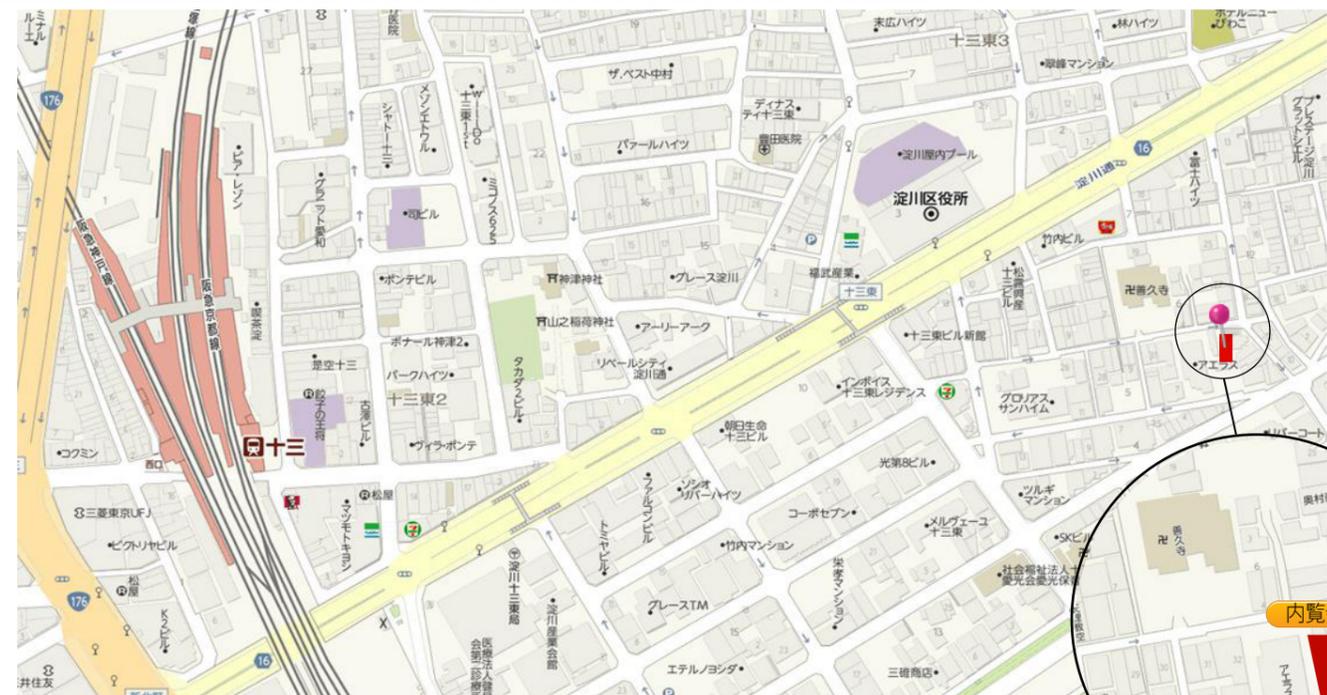
内覧会場

大阪市淀川区十三東1-5-35(旧住居表示)

アクセス

阪急電車 十三駅 徒歩 10分

注) 現地に駐車場は御座いませんので、  
お近くのコインパーキングにお停め下さい。



信和建設株式会社

大阪市淀川区十三本町1-12-15

0120-567-169

担当者: 岡本 英士

いいものを永く。

次代へと継承される新しい知恵。「タカユカ工法」



「長期優良住宅」発想で、「サステイナブル・レジデンス」を目指して。長期優良住宅とは、住宅長寿命化への取り組みです。

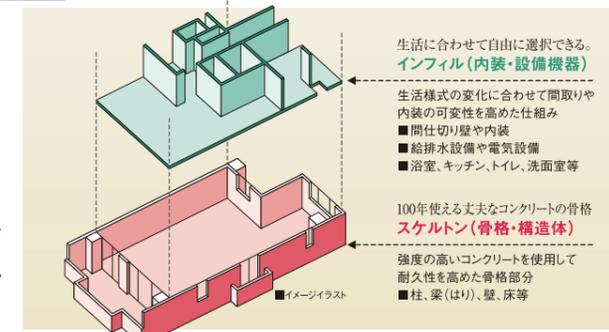
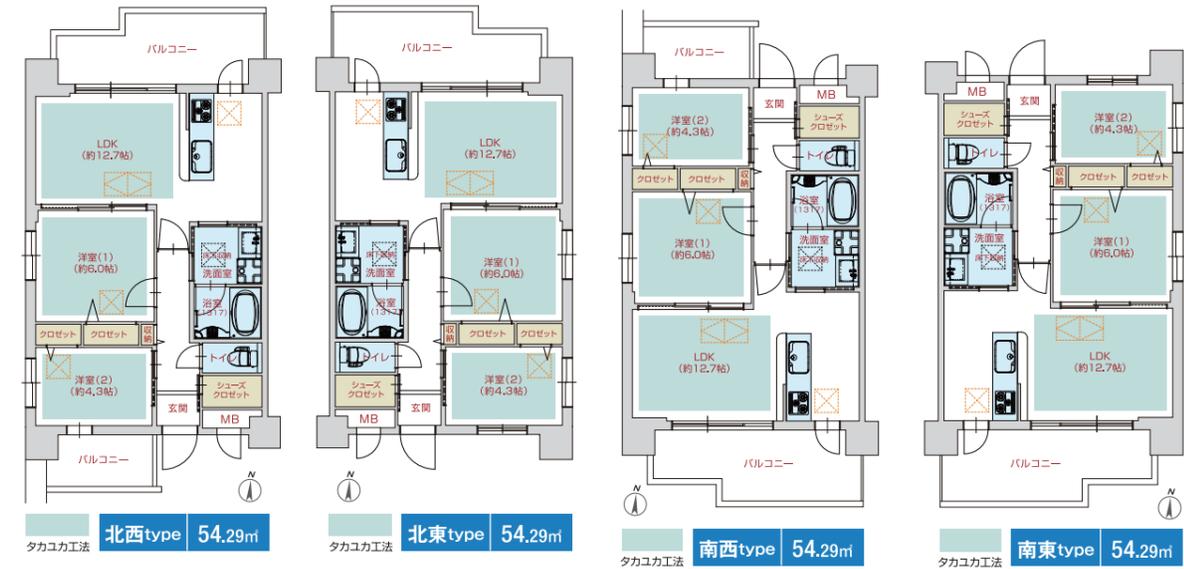
CO<sub>2</sub>排出や少子高齢化が大きな問題となっている今、日本の住宅には、大切な資産として何世代にもわたって住み続けられる「住宅の長寿命化」が求められています。これまでの「つくっては壊す」消費型社会から「いいものをつくって、きちんと手入れして、長くたいせつに使う」サステイナブル（持続可能な）社会への転換が国策として進められています。

【長期優良住宅の普及の促進に関する法律】平成20年12月5日公布・平成21年6月4日施行

「タカユカ工法」は理想的なスケルトン&インフィル。

住宅を長持ちさせるためには、丈夫な構造躯体に加え、メンテナンスが容易にできることが重要なポイント。さらに、住み替えや住み継いでいくことを考えてリフォームのしやすさも大切です。そのために、国土交通省が推奨する構造躯体（スケルトン）と内装・設備（インフィル）を分けるという考え方があります。床をウッドビームで支え、構造躯体と住空間を分けるタカユカ工法の住まいは、まさに「長期優良住宅」発想の住まいです。

## ルネサンス間取り



### 〔概要〕

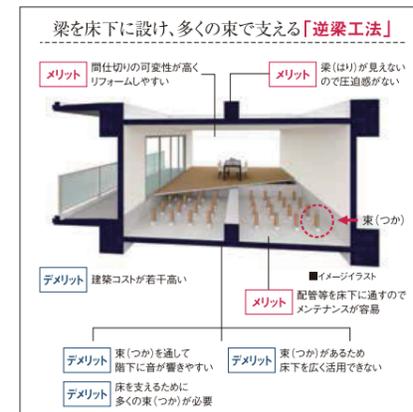
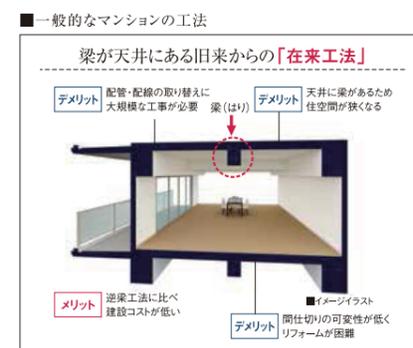
鉄筋コンクリート構造

6階建 18戸

駐車場 6台

バイク 9台

## 「住みたい」を変えていく。「タカユカ工法の2層新空間」



## 床下が変わると、マンションが変わる。「サステイナブル・ソリューション」

**大収納**  
住まいを美しく、そして、面積以上に広く使うことができます。  
全邸「床下大収納」



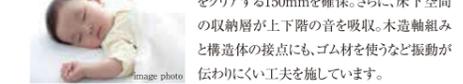
床下は季節物や普段使わない物の「隠す収納」、床上はクローゼットに加えてお気に入りの家具だけの「魅せる収納」といった2層使い分けで、居住スペースの有効面積を広げることができます。

**空間演出**  
子ども部屋でも、書斎でも、立体的で個性豊かな間取りが愉しめます。  
DEN+ロフト



床下空間を加えると、最大天井高は約3mになります。この高さを生かして、掘り下げたところを床にしたDEN(書斎)、その上にロフトを積み立て立体的な空間プランをご提案しています。お子様なら、勉強スペースとベッドとして利用すれば、機能的でありながら個性空間となります。

**遮音効果**  
収納層が音を吸収し、ストレスフリーな住空間を実現します。  
サイレントゾーン



**簡単管理**  
床下空間に配管・配線スペースを。低コストにも貢献します。  
スムーズメンテナンス



**永住性能**  
将来のライフスタイルの変化に自由に対応できる住まいです。  
インフィルリフォーム



床下高約60cmを自由空間として使うことで、マンションライフの課題を一挙解決。

これまでマンションライフの課題は「収納が少ない」「間取りが画一的」「階下に気を遣う」「メンテナンスが不便」「リフォームがしにくい」といった声が代表的でした。どれもがマンションの構造的な課題でした。そこで、床を支える構造に着目し、ウッドビームで床を支える「タカユカ工法」を採用。床下に生まれた高さ約60cmの自由空間が課題を一挙解決。永く快適に住むという性能を飛躍的に向上させました。